

矯正情報ネットワークシステムの運用管理業務の評価（案）の概要

1. 事業概要

事業内容：矯正情報ネットワークシステムにおけるハードウェア管理、ソフトウェア管理、ネットワーク管理、セキュリティ管理、データ管理、障害対応等の運用及び保守・管理に係る各種業務を実施

実施期間：市場化テスト3期目

第1期	平成24年4月1日～平成26年3月31日（2年間）
第2期	平成26年4月1日～平成27年3月31日（1年間）
第3期	平成27年4月1日～平成27年12月31日（9か月間）
第4期	平成27年10月1日～平成31年3月31日（3年6か月間）

応札者数：1者

2. 事業実施に関する評価

- 確保されるべき質として設定された以下の項目を全て達成している。
 - （1）バックアップセンター利用満足度（75点以上） →92.3点
 - （2）本システムの可用性（98.0%以上） →99.9%
 - （3）本システムの重大障害件数（0件） →0件
 - （4）実施要項に示す業務を適切に実施 →実施
- 民間事業者から運用の効率化の観点から改善提案がなされているが、提案に基づく実施については、4期目の業務委託業者との調整も必要なことから、法務省において検討中である。

3. 実施経費に関する評価

本事業の契約期間である9か月分に換算して比較すると、本事業の経費は45,149千円であり、市場化テスト実施前の従来経費（平成23年度：26,496千円）と比べて、18,653千円（約70.4%）の経費が増加している。

増加の要因としては、1期目の実施状況に係る入札監理小委員会での指摘（一般的な同種業務と比較し非常に安価であり、現行受託者以外の者が相応のリスクを抱えなければ入札に応じることができないのではないかとの指摘）があり、本事業におけるバックアップセンターへの問合せ件数が増加傾向（平成22年度以前：約4,000件～4,500件、平成23年度以降：約5,000件～5,800件）にあったことから、予算額を業務内容や業務量に見合った適正な金額にしたこと、また、現行事業者（3期目）以外の事業者の入札を促すために、次期事業者（4期目）への引継ぎ期間を3か月設け、十分な引継ぎを実施することが挙げられる。

4. 今後の事業

本事業については1者応札であり、経費は増額になっているものの、次期事業（4期目）

において、2者応札となり競争性は確保され、且つ経費削減効果（予算額を適正な金額にした3期目の本事業と比較して約15.9%減）も得られたことから、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会決定）Ⅱ. 1. (1)の基準を満たしており、今期をもって市場化テストを終了することが適当であると考えられる。